

別紙 3. 評価基準表

ア. 第 1 次審査（書面審査）

- (1) 企画提案書等を提出した提案者が 3 者を超える場合は、提出された企画提案書等について、評価基準に従い書面審査を実施する。
- (2) 第 1 次審査の結果、点数が上位の 3 者に対し、第 2 次審査（プレゼンテーション）を行うものとする。提案者が 3 者以下の場合は、第 1 次審査を省略し、企画提案書等を提出した全ての提案者を第 2 次審査の対象とする。
- (3) 第 1 次審査及び第 2 次審査において、各評価項目の点数は、5 段階評価【5.4.3.2.1】で行う。

特に優秀	優秀	普通	やや不足	不足
5	4	3	2	1

- (4) 第 1 次審査の点数は、第 2 次審査に引き継がないものとする。

評 価 基 準 表

評価項目	評価の着目点	評価点	傾斜配分	配点
実績	過去に同種業務又は類似業務の実績があり、事業の遂行が期待できる経験を有しているか	1, 2, 3, 4, 5	×2	10
業務実施体制	配置予定の業務管理者の情報及び支援員の配置人数や支援回数等が明記され、業務を遂行するにあたり十分な体制となっているか	1, 2, 3, 4, 5	×1	5
業務の理解度等	教育の情報化における ICT 活用の必要性や課題などについて、簡潔に整理されており、業務に対する理解や考え方などが明記されているか	1, 2, 3, 4, 5	×3	15
			合計	30

別紙 3. 評価基準表

イ. 第 2 次審査（プレゼンテーション）

評 価 基 準 表

評価項目	評価の着目点	評価点	傾斜配分	配点
1. 業務に対する理解 及び考え方や意欲	1-1 教育の情報化における ICT 活用の必要性や 課題など業務の理解は十分あるか	1, 2, 3, 4, 5	×2	10
2. これまでの実績	2-1 これまでの実績等が具体的にあり、本業務 を遂行するに足る実績を有しているか	1, 2, 3, 4, 5	×2	10
3. 業務実施体制	3-1 業務管理者や支援員は、資格、実務経験年 数、実績を有しているか	1, 2, 3, 4, 5	×1	5
	3-2 業務に必要な人員を常時欠くことなく、業 務を安定的に実施することができる体制が見 込めるか	1, 2, 3, 4, 5	×2	10
4. 業務内容	4-1 業務を着実に遂行するため、配慮事項や創 意工夫などの提案はあるか	1, 2, 3, 4, 5	×1	5
	4-2 学校における ICT 活用の支援方法について、 技術的知見・経験等を基にした独自の提案はあ るか	1, 2, 3, 4, 5	×2	10
	4-3 児童生徒の情報活用能力や学力向上のため、ICT をより効果的に活用する独自の提案は あるか	1, 2, 3, 4, 5	×2	10
5. 学校支援体制	5-1 各学校へ巡回訪問する支援員の人数や回数 は仕様書以上であり、学校訪問回数が最大とな る提案となっているか	1, 2, 3, 4, 5	×3	15
	5-2 学校へのサポート体制（教員への研修含む） は、有益かつ効果的な内容・体制の提案となっ ているか	1, 2, 3, 4, 5	×2	10
6. 総合所見	6-1 本業務の質を高める創意工夫や意欲がある 提案内容となっているか	1, 2, 3, 4, 5	×3	15
			合計	100

＜第 2 次審査における提案者の順位の決定及び最低基準点の設定＞

- 提出された企画提案書等を評価基準表に基づいて評価し、委員の採点の結果、点数の高い候補者を「3点」、次点を「2点」、3位を「1点」とし、各委員の順位点を合計した結果、合計点が最も高い者を受託候補者とする。
- 上記 1 の順位点の合計が同点となった場合は、次の方法により順位を決定する。
 - 評価項目「6-1」の点数が高い者を上位とする。
 - 上記の（1）も同点の場合は、評価項目「5-1」の点数が高い者を上位とする。
- 最低基準点は、各委員の評価点の平均点 60 点とする。なお、60 点に満たない場合は、応募が 1 者であっても選定を見送る場合がある。